

《中学生の部 優秀賞》

「職業体験に行つて学んだこと」

有田市立箕島中学校 2年

尾藤 絢音 さん



私は職業体験で、さくらんぼというところに行きました。さくらんぼは、障害を持っている子や、少し他の子より発達が遅れている子達が通うところですよ。初めは、「どんな子達がいるのだろう」「どんなところなんだろう」と、少し不安でした。

体験一日目。洗たくなどの仕事を手伝っていると、一人の女の子がやって来ました。その子は「おはよう。」と言って、初めて会った私達に抱きついてくれました。「なんて人なつっこくて、かわいい子なんだろう」と思いました。それから次々と子供達がやって来ました。よく走り回る子、静かに本を読む子、私達に話しかけてくれる子など、色々でしたが、みんな元気で明るく、いい子でした。あまり障害を持っていたり、発達が遅れているように見えませんでした。

体験二日目。それぞれの特徴や性格がわかってきました。子供達の中に一人、足の不自由な子がいました。その子は歩行器がないとうまく歩けない子でした。それでも、歩行器を器用に動かしてみんなと同じように遊んでいました。その子はとてもいい子で、「お仕事頑張つてね。」と声をかけてくれました。自分の思うように動かない体で、つらいことや大変なこともたくさんあったはずですよ。それでもこんなに明るく、いつも笑顔でいるこの子は、すごく強い子だなと思いました。

この日は雨だったので、室内遊びをしました。レゴブロックやままごと、折り紙などをして遊びました。一人の男の子に折り紙で紙風船をつくつてあげると、とても喜んでくれました。そして、先生や友だちに「お姉ちゃんに作つてもらつた。」と嬉しそうに話していたので、自分も嬉しくなりました。こんな小さなことでも、子供達の笑顔を見られると、疲れもふつ飛びます。この仕事のいいところだなと思いました。

職業体験最終日。この日は親子保育といつて、お母さん達も一緒に遊んだりし工作をしたりしました。昨日までとは違って、準備や片付けの仕事が多くありました。お母さんがいて少し甘える子供達がとてもかわいかったです。午前中に子供達が帰つたので、午後からはそうじや草ぬきをしました。また、遊びで使うおもちゃの消毒をしました。口にくわえたりしているもので、一つ一つ丁寧にふきます。思っていた以上に大変でした。わけていたり壊れているものは捨てるように言われました。子供達が遊ぶものなので、清潔で、安全なものでないといけないんだなと思いました。

三日間の体験を通して、たくさんのことを学びました。子供達が着がえるとき、自分は少し手伝うだけで、あとはなるべく子供にさせる。ダメなことはダメと言うけれど、できていない子には優しく教えてあげる。どれも子供達のための工夫なんだなと思いました。

一番印象に残っているのは、園長先生からのお話です。さくらんぼにいる子供達のように

に障害のある子、発達が遅れている子も毎日少しずつ成長していること。他の人と少し違ってもみんな素敵な子だということ。障害があるからという理由で差別するのではなく、互いに認め合い、助け合いながら生きていくこと。障害者の方も一人の人として向き合うことが大切だということを教わりました。今までは、自分達が普通で、障害者は変わった人だと思っていたけど、園長先生の話聞いて考え方が変わりました。もし、障害者の方が困っているのを見かけたら、声をかけて手伝ってあげたいです。そして、少しでも力になれば嬉しいです。